

# 中国国際学会参加・発表報告書

～The IEEE 11th International Conference on ASIC (ASICON 2015)～

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻  
電子情報・数理教育プログラム  
小林研究室 修士1年  
佐々木秀



参加学会：The IEEE 11<sup>th</sup> International Conference on ASIC (ASICON2015)

開催場所：中国 成都 Wangjiang Hotel

滞在期間：2015年11月2日（月）～7日（土）

IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers) は、アメリカ合衆国に本部を持つ電気工学・電子工学技術の学会である。電気工学を源流とする通信・電子・情報工学とその関連分野を対象とし、それぞれに会誌（論文誌）を発行している。この分野における専門機関としては世界最大の団体が開催した学会である

(Wikipedia より抜粋)

## ●日程

11月2日（月）：羽田空港から北京空港を乗り継ぎ、成都空港へ到着。

林先生と合流し、バスとタクシーでホテルへ到着。その後、全員で夕食。

3日（火）：林先生のプランの下、中国・成都を観光。

パンダ繁殖基地、武侯祠（三国志で有名な諸葛孔明を祀ったところ）、青羊官（成都で一番大きな道教寺院）を観光。

4日（水）：終日学会参加

5日（木）：終日学会参加（発表日：Start：11:30, at Bruei Meeting Room）

6日（金）：終日学会参加、参加者全員の発表が終了

7日（土）：成都空港を出発し、成田空港へ到着。その後、各自解散

## ●発表タイトル

『Flat Passband Gain Design Algorithm for 2nd-order RC Polyphase Filter』  
Yoshiki Niki, Shu Sasaki, Nobu Yamaguchi, Jian Kang, Takashi Kitahara,  
Haruo Kobayashi

## ●学会での目的

- ・海外の学生の研究内容を知り、現在の自分の言語力や発表内容を比較すること。
- ・中国での環境、文化の違いを肌で感じることに。

## ●今回の学会を経て学べたこと

- ①自身の言語力、コミュニケーション能力の低さを痛感した。
- ②今回の学会においては、自分たちの研究内容は海外のレベルにも対抗できることが分かった。
- ③プレゼンテーションの仕方、発表の順序や内容を伝えやすくする構成。

初めての海外であり、初めての国際学会の場となる中国旅行は、波乱（自分のみ）の初日で幕を開けた。

おそらく緊張していたのだろう。

「パスポート黒いけど大丈夫？」という意味不明な発言から始まり、成都空港の検査官からは理解できない中国語で怒られ、どこも怪我をしていないのに鼻血が出てトイレ掃除のおばさんに笑われ、宿泊先のホテルに着けば自分の名前が存在しない（確認してみれば“Shu Sasaki”ではなく“Shu Sasak”で登録されていた）。

「これが海外旅行の洗礼か」と苦笑を浮かべ、これから始まる海外での短い生活に不安を覚えた。



【発表の様子】

学会に出席して感じたことは、外国の人は「他人への思いやり」というものを日本人比べて重点を置いていないような感じがした。だが逆に、自己主張、コミュニケーションの面では日本人よりも上手だと感じた。発表の場で私は原稿を見ていたが、他の参加者は原稿を見ずに、聞いている相手の目を見て、身振り手振りをつけて発表してい

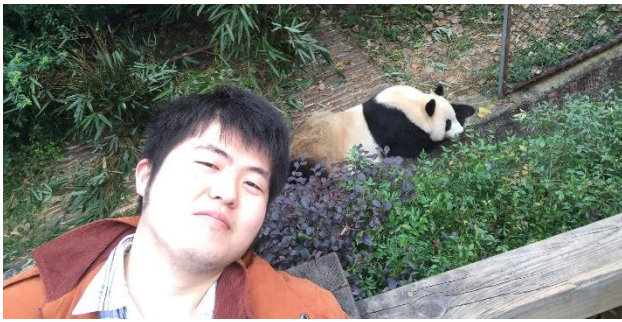
た。他の論文の内容は理解できても、こうした日々の勉強の差が如実に現れていることを感じてとてもやるせない気持ちになった。

発表内容については海外の学生にも劣らないというのは実感したが、こうした勉強だけでは身につかない能力がこれから社会人となっていく上で必要なものだと感じた。「他者への思いやり」という体のいい言い訳で、自己主張を強くすることを疎かにしていた自分に対して、今回の学会はとてもいい刺激になった。

論文を読むだけなら英文を調べればいいが、質問されたときやそれに答えるためには、相手の話を聞く力と伝えたいことを話す力が必須になる。また、言語がきちんと理解できなくても相手の表情や仕草などで伝えようとしていることを受け取れる感受性も鍛えていかなければならないと思った。交流を広げ、世界の学生と通じ合うことは自身の見聞や知識を広げることに繋がるため、言語能力やコミュニケーションの力を鍛えていきたいと考える。

## ●最後に

海外での国際学会という貴重な経験をくださり、小林先生、林先生、小堀先生、小林・高井研究室の仲間に感謝の意を込めて、この報告書を締めとさせていただきます。



中国の親戚(パンダ)に会ってきました！！



かなりの迫力



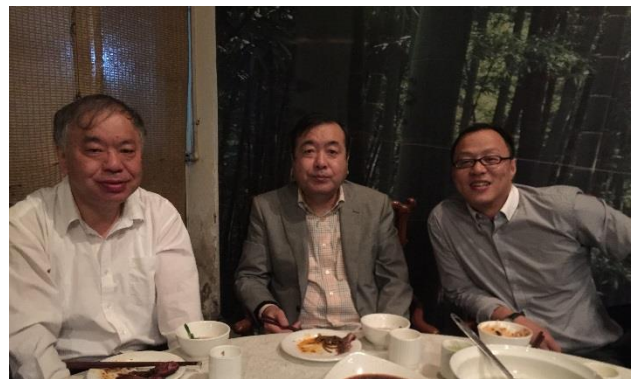
パンダの子供



どこかで見たことあるような……？



四川料理！ 辛かった！！



大変お世話になりました



武侯祠にて記念撮影



みんなで集合写真